

# 笑顔の「弁当の日」



平成23年度 小林市立小林小学校

## 《小林小学校「弁当の日」のねらい》

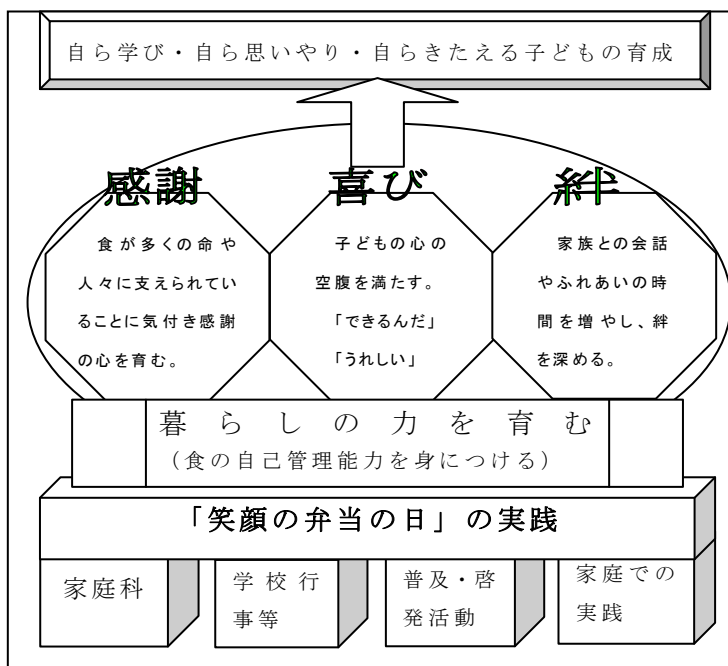
本校では、平成22年度より弁当の日の取組を始めました。  
 弁当作りを通して食材の命を見つめ、ふだん食事の準備をしてくれる親の苦勞を感じることで食への感謝の心を育み、そして子どもが考え、実践・失敗・改善・工夫するという一連の体験を繰り返すことで暮らしの力を身に付けることができるというねらいがあります。

### 1. 本校の「弁当の日」の基本的な考え方

「弁当の日」の実践にあたっては、次のような点に留意しながら充実を図っている。

- ① 「弁当の日」は、食育として「健康・栄養面での食についての理解」を深めるとともに、「食材」や「食に関わる仕事（生産や調理）」に対する感謝の心や、主体的に食や家庭生活に関わろうとする実践的な態度の育成を目指して行う。
- ② 学校の校務分掌に担当を位置付け、組織的・計画的に「弁当の日」の実践を充実させる。
- ③ 「弁当の日」の実際の活動は各家庭で行われることを踏まえ、啓発と情報提供に努力する。
- ④ 実践の程度を一律とせず、各家庭の状況に応じてできることから取り組み、少しでも何らかの形で「弁当の日」に関わってもらおうようにする。

### 2. 全体構想



### 3. 平成23年度の取組の内容と実施計画について

本校では弁当が必要な行事にあわせて弁当の日を設定しています。家庭へ呼びかけ、活動の目安となる5つのコースの中から子どもができることを選んで取り組みます。

また、感謝の心をこめて食べ終わった弁当箱を子どもが自分で洗うようにしています。

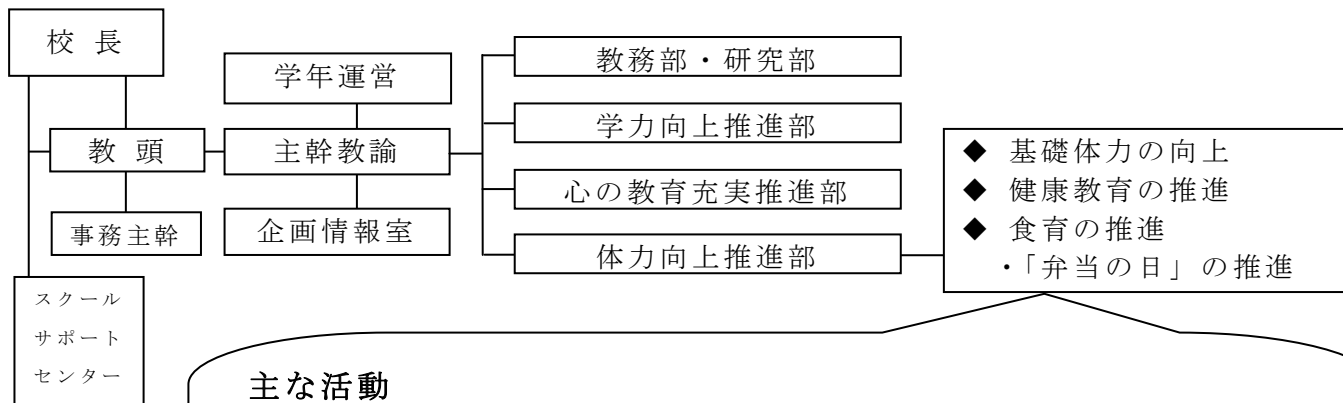
活動の目安	弁当が必要な行事
いただきますコース…作ってもらったおかずを弁当箱に詰めます。	○春の遠足
なかよしコース…お家の人といっしょに弁当を作ります。	○運動会(お弁当の内容を家族で話し合います。)
おにぎりコース…好きな味のおにぎりを自分で作ります。	○秋の遠足
僕、私の1品コース…おかずを1品最初から最後まで自分で作ります。	○小林まつり
チャレンジ! 1人前コース…献立を考えるとところから買い物、調理までを全て自分でします。	○お別れ遠足

ごちそうさまでした!  
どのコースも、感謝の心をこめて食べ終わった弁当箱を自分で洗うようにします。



#### 4. 弁当の日の普及・啓発活動

「弁当の日」は体力向上推進部・食育推進班が中心となり普及・啓発活動を行っています。



#### 主な活動

- 家庭にむけた文書「笑顔の弁当の日」発行
- 給食委員会児童によるポスター掲示や放送での呼びかけ
- 学校保健委員会での保護者・5年生児童対象の講演  
(講師：養護教諭・学校栄養職員)
- 職員実技研修（夏休み中に弁当作りの調理実習）

#### 5. 「弁当の日」を広げるためにこれまで行ってきた活動

「弁当の日」ってなに？  
2年生児童に「弁当の日」の意義を伝える授業の様子。講師は竹下 和典先生。子どもが自分で自分の弁当を作る日。

ごころの準備がいっぱい  
給食委員会の児童が「弁当の日」のポスターを作成している様子。

子どもだけでなく、教職員も「弁当の日」に取り組んでいます。  
教職員が調理実習に参加している様子。

学校保健委員会で、5年生児童と保護者を対象にした講演を行いました。  
講演会に参加している様子。

笑顔の「弁当の日」  
給食委員会児童によるポスター作成や家庭に向けた文書を発行して定期的に啓発をしています。  
「笑顔の「弁当の日」」のポスターと文書のイメージ。

#### 6. 「弁当の日」に取り組んだ児童や保護者の感想（春の遠足の感想より）



弁当作りは楽しかった。自分でいろいろ試してみたり、失敗したのを食べてもおいしかった。弁当箱を洗ったとき、『こんなにおいしいものを食べられて、ぼくたちは幸せだなあ』と思って洗った。  
3年男子児童

卵焼きは3年生のころ初めて作って、今は私より上手に作れるようになりました。  
4年保護者

お弁当箱を洗ったあと、お母さんに「ごちそうさまでした。」と言うとお母さんはうれしい顔で笑っていました。  
3年男子児童

遠足で食べたとき、いつもよりおいしかった。お母さんが教えてくれたのが嬉しかった。  
1年男子児童

自分で作れたのはすごいと思った。お弁当を作るのが好きになった。  
1年男子児童

今回弁当箱洗いをきっかけに、初めて食器洗いを教えました。幼いから、まだできないと思っていたのですが、やらせていなかっただけなんだなと思いました。  
1年保護者